

9月の窓

山形東高等学校には、体育部と文化部あわせて32の部活動があります。そのうちの一つに文芸部があります。部員は1年生と2年生あわせて6名ですが、小説、詩、エッセイなどを書いており、年に何回か作品をまとめた冊子を発行しています。7月に「文月号」が出たと思ったら、8月には「葉月号」が出ました。8月31日と9月1日に開催される山東祭にあわせて、いつもより多くの部数を発行したそうです。写真は、それぞれ「文月号」と「葉月号」で、文月は陰暦の7月、葉月は8月のことです。



陰暦の8月1日のことを八朔と言います。ついたち（毎月の第1日）のことを朔日ということから、略して八朔と言うのだそうです。農家では、この日に収穫を前もってお祝いする行事が行われました。

八朔や 盆に乗せたる 福俵……………一茶

八朔や はちきれさうな 稻荷寿司……………若井新一

暑かった夏から実りの秋へと季節も移っていきますが、最近各地で田んぼアートを見ることができます。田んぼアートとは、水田をキャンパスに色彩の異なる苗を植え付け、巨大な絵模様を浮かび上がらせるもので、米沢市の小野川温泉近くの田んぼでは、7年ほど前から作っており、私も何度か見てきました。これまでも、上杉鷹山、直江兼続、その妻お船などを描いてきましたが、今年は、NHK大河ドラマの主人公新島八重を描いていると聞き、先日見てきました。新島八重も一時期米沢に住んでいたことがわかっています。駐車場から1分も歩くと田んぼがみはらせる展望台があり、そこには「田んぼアート美術館」の掲示があります。写真は、その展望台と、そこから見える田んぼアートです。八重が鉄砲を持っている姿がきれいに見えました。田んぼアートの制作工程の説明によると、高台からななめに見

下ろした時にちゃんと見えるように、遠近法処理をしているとのことでした。



夏休み中に、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が北部九州4県で開催されましたが、7月の窓で書いたように、本校からはフェンシングとなぎなたの2種目に4名の選手が出場しました。フェンシングの男子エペに出場した斎藤大志郎君は、予選プール（予選リーグと考えてください）で1勝3敗という成績でした。女子のフルーレとサーブルに出場した門脇璃子さんは、2つとも予選プールを勝ち上がり次のトーナメントに進出しましたが、1回戦で敗れました。なぎなたの演技部門に出場した寺澤裕希さんと寺澤裕夏さんは予選で1勝1敗という成績でした。個人試合に出場した寺澤裕希さんも予選で1勝1敗で、残念ながら決勝トーナメントに進出することはできませんでした。斎藤君と門脇さんは2年生、寺澤裕夏さんは1年生ということで、今後の活躍も期待できるものと思います。

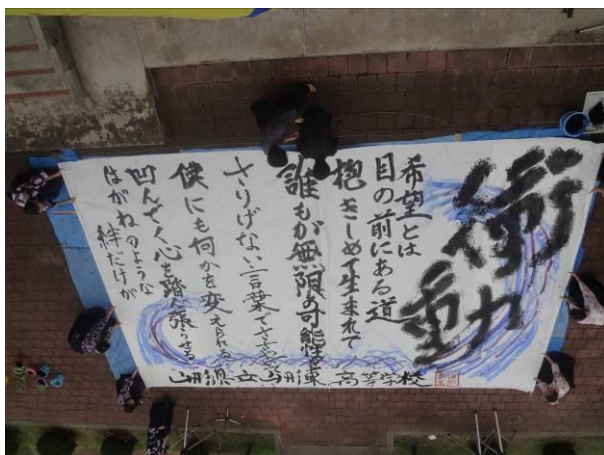
長崎県で開催された全国高等学校総合文化祭には、合唱、将棋、囲碁、放送と新聞の5つの部門に、25名の生徒が出場してまいりました。将棋の女子団体に出場した3名は、5位という素晴らしい成績を収めてくれました。写真は、3年生の石沢成美さん、石田磨美さん、1年生の松田梢さんそして顧問の渡邊先生が、入賞楯を持って校長室に報告に来てくれた時のものです。



夏休みが終わると、学校祭や文化祭のシーズンとなります。山形東高では、8月30日（金）～9月1日（日）までの3日間「山東祭」が開催され、31日と1日が一般公開でした。生徒通用門には、写真のようなアーチが飾られ、中庭にはいろんな装飾が行われました。音楽の音符のようなものが見えますが、空中装飾といって、校舎の窓から反対側の窓へと掛け渡したものです。



次の写真は、書道部の書道パフォーマンスで、最初の写真は書き始めたところ、次はほぼ完成したところです。撮影の関係で上下が逆になっていますので、見やすくするため回転したのが次の写真です。



2日間で2391名の入場者がありました。おいでくださった皆さん、ありがと

うございました。今年来られなかった方も、来年のご来場をお待ちしております。

最後に、今月も校内にある芸術作品を紹介します。芸術作品というよりは、貴重な文化財と言った方がいいかもしれません。校内に、結城豊太郎先生が書かれた書が2点飾られています。

結城先生は旧赤湯町、現在の南陽市赤湯の出身で、明治29（1896）年に本校の前身である県立山形中学校を卒業しました。その後第二高等学校そして東京帝国大学を卒業し、1937（昭和12）年に大蔵大臣に就任し、その後日本銀行の総裁も務め、日本経済の舵取りとして、戦時金融の元締め役割を果たした方でもあります。一方、結城先生は郷土の発展と繁栄のためにも大いに力を尽くし、多くの文学、歴史書、経済の専門書などを郷里に寄贈し「臨雲文庫」を創設されました。また、郷土の実家を「風也塾」と名付けて、青年の勉強のための場所として開放し、地域の青年や後輩に「少年よ、大志を抱け。Boys, be ambitious.」という言葉をよくしたためたそうであります。

大蔵大臣に就任した後、結城先生は母校山形中学校の講堂で記念講演を行っており、その際「奉公旗」と呼ばれる旗をおみやげとして贈られました。旗の表には「奉公」そして裏には「Boys, be ambitious.」という英文が書かれており、記念講演の時の写真とともに、本校同窓会が保管してくれています。この旗とは別に結城先生の書かれた英文が最初の写真で、本校2階廊下に掲げられています。

“Toyotaro Yuki”のサインが見えると思います。もう1点は次の写真で、玄関から2階に上がる階段に掲げられているものです。本校の元校長木村宰先生にお聞きしたところ、「独坐大雄峯」と書かれており、「独り大雄峯に坐す」と読むとのことでした。（右から左へ読みます。）最後に「臨雲豊」という署名がありますが、先ほどの「臨雲」と豊太郎の「豊」から、結城先生はよくこの署名が使われたそうです。

